成蹊中学校１年　英語１　学年末試験（2024.03）

～ 概要～

試験時間	50 分	
	形式	目標解答時間
	第１部	
パート１	リスニング （選択問題）	-
パート２	リスニング （Dictation 空欄補充）	-
パート３	リスニング （記述）	-
	第２部	
１	空欄補充 （英文法）	２分
２	空欄補充 （英文法）	２分
３	記述問題 （英文法）	２分
４	英単語 （置き換え）	２分
５	単語問題	３分
６	空欄補充 （英文法）	２分
７	記述問題 （過去形・過去進行形）	３分
８	英訳 （単文）	２分
９	空欄補充 （英会話）	３分
１０	英訳 （会話文）	４分
１１	物語ナレーション	４分
１２	長文読解	４分
１３	記述問題	４分
１４	英語訳	４分
１５	空欄補充 （英会話）	２分
１６	記述問題 （用語指定）	３分

第１部

～ パート１　リスニング（選択問題）～

✓ **形式**

：英語を聞き、絵の中に適するアルファベットを書き込む。
　英文は二回放送される。

✓ **問題数**

：５問

✓ **配点**

：　省略

✓ **ポイント**

：　放送される前に解答用紙上の絵を確認しておく。
：　 絵から聞かれるものを想定しておく。

～ パート２　リスニング（Dictation 空欄補充）～

✓ **形式**

：英文を聞き取り、また解答用紙の天気の情報を参考にして、質問に英語で回答する。

✓ **問題数**

：　省略

✓ **配点**

：不明

✓ **ポイント**

：パート１同様に、与えられた一週間の天気の情報を確認しておく。
：放送内容と与えられた情報を照らし合わせ、何が聞かれているのか聞き取る。

～パート３　リスニング（記述）～

- ✓ **形式**
  ：英語で質問が放送され、それに対して英文で回答する。

- ✓ **問題数**
  ：３問

- ✓ **配点**
  ：　不明

- ✓ **ポイント**
  ：放送内容をしっかり聞き取り、簡潔に回答する。
  ：回答に時間をかけすぎない。簡単に回答をメモで記し、放送を聞き逃さないようにする。

～ 第２部　１（空欄補充　（英文法））～

- ✓ **形式**
  ：日本文に合う英文になるように、英文の空欄を埋める

- ✓ **問題数**
  ：３問

- ✓ **配点**
  ：各１点　計８点。

- ✓ **ポイント**
  ：空欄には１単語しか入らないので注意する。
  ：頭文字がある場合は従う（文章の始まりに空欄がある場合）

～ 2　空欄補充（英文法）～

✓ **形式**

：対話が成り立つように、英文の空欄を補充する。

✓ **問題数**

：４問

✓ **配点**

：各１点　計６点。

✓ **ポイント**

：頭文字がある場合は従う（文章の始まりに空欄がある場合）

：対話の返答から、質問を推測する

４Ｗ１Ｈ：『いつ・どこで・誰が・何を・どのように』

When・Where・Who・What・How

～　3　記述問題　～

✓ **形式**

：指示に従って与えられた英文を書き換える

✓ **問題数**

：２問

✓ **配点**

：　各２点、計４点。

✓ **ポイント**

：指示に注意して、どのように書き換えるべきなのかを考える。

＞＞＞特に、否定の命令文ならば、

「Do not＋動詞の原形」

＞＞＞「～をしましょう」ならば

「Let us」

～ 4 英単語置き換え問題　～

- ✓ **形式**
  ：与えられた日本文に合うように、英単語を並べ替える

- ✓ **問題数**
  ：２問

- ✓ **配点**
  ： 各１点、計２点。

- ✓ **ポイント**
  ：①主語と述語を日本文から把握し、それに適する英単語を選択肢から抜き取る
  ②抜き取った英単語を軸に、ほかの選択肢をどこに配置するかを考える

～　5　単語問題　～

- ✓ **形式**
  ：日本語で書かれた月と曜日を英語で書く

- ✓ **問題数**
  ：８問

- ✓ **配点**
  ：各１、計８点 。

- ✓ **ポイント**
  ：曜日や月は、頭文字を大文字にすることを忘れないように。
  ：January や February は、スペリングミスをしやすいので注意する。

～　6　空欄補充　（英会話）～

✓ **形式**

：与えられた英会話が成立するように、空欄を補充する。

✓ **問題数**

：１０問

✓ **配点**

：各１点、計１０点 。

✓ **ポイント**

：英会話から対話の時制を推測する。

例えば、***Did*** *you take a bath yesterday?* ならば

過去の事象についての会話なので、*No, I* ***didn't***　となる。

：また話している対象により、人称が変わるので注意

例えば、go-goes など

～　7　記述問題　（過去形・過去進行形）～

✓ **形式**

：英語の質問に対して、英語で回答する

✓ **問題数**

：２問

✓ **配点**

：（１）２点・（２）４点（部分点あり）

- **ポイント**

：質問の４Ｗ１Ｈを読み取り、何を回答することが求められているのかを把握する。

When (いつ)　　:出来事が起こった時間や時期を特定
Where (どこで)　:出来事が起こった場所を特定
Who (誰が)　　:出来事に関わった人物やグループを特定
What (何を)　　:出来事の内容や対象を特定
How (どのように):出来事がどのように起こったのか、具体的な状況を説明する

：特に２問目は、質問の時制で回答できるように

Where **were** you last night?　　- I **was** at~
What **were** you **doing** there?　　- I **was ~ing**

～ 8　英訳～

✓ **形式**

：英文中の日本語を英語に訳する。

✓ **問題数**

：３問

✓ **配点**

：各２点、　計６点

✓ **ポイント**

：なるべく正確に日本語を英語訳する。

例えば、

とても上手になら、well ではなく very well に

私たちは（試しに）～をやってみたなら、I tried ではなく We tried に。

～ 9　空欄補充（英会話）～

✓ **形式**

：英会話文中の空欄に適切な**一語**を入れ、英会話を完成させる。

✓ **問題数**

：６問

✓ **配点**

：各１点、計６点

✓ **ポイント**

：What's up や It sounds~など、フレーズで覚えた方が良い。

：英会話から文脈・登場人物の想定される感情を読み取る。

～　１０　英訳（英会話）～

✓ **形式**

：英会話の日本語下線部を英語訳する。

✓ **問題数**

：２問

✓ **配点**

：　各２点、計４点。

✓ **ポイント**

：『～について聞いた？』― *Did you hear about it?*

などは、フレーズとして覚えた方が良い。使用教材等で扱う英会話のフレーズは形で覚えること

：この問題の後半では、未来についてを英語で表現する

これらの問題は Will や going to を用いて表現する

（問題には関係ないが、同じ未来形でも、前々から決まっている予定や、予定を尋ねる時、確実に起こると思える未来のことを予測する時は be going to を、今その時に決めたことや、問いかけや約束をする時、不確実な未来のことを予測する時は will を）

～　１１　物語ナレーション　～

✓ **形式**

：問題用紙の絵やセリフ、文字を照らし合わせ、物語を日本語で説明する。

✓ **問題数**

：１問

✓ **配点**

：　計８点

✓ **ポイント**

：まずは問題文から読む。

絵とセリフから、物語の流れを読み取る。

日本語での回答なので、物語の情報を丁寧に描写する。

～　１２　長文読解　～

✓ **形式**

：英文の物語文を読み、（１）～（３）の質問に対して英語で回答する。

✓ **問題数**

：３問

✓ **配点**

：　（１）２点　（部分点あり）（２）４点　（３）各１点、計２点

✓ **ポイント**

：まずは問題文から読み、それの答えを探すように物語を読む。
　下線部や質問の内容付近に答えとなる部分があるはずなので、付近から探す。

～　１３　記述問題　～

✓ **形式**

：物語 The Ant and the Grasshopper に関する問題。 授業で扱った問いが英語で聞かれ、それに対し英語で答える。

✓ **問題数**

：２問

✓ **配点**

：　計４点　（部分点あり）

✓ **ポイント**

：テスト前に授業内容をしっかり復習し、テスト時にしっかりと準備したものを回答できるように。

～　１４　英語訳　～

✓ **形式**

：英会話中の下線部を[]内の指定された語句を用いて英文語訳する。

✓ **問題数**

：２問

✓ **配点**

：　計４点

✓ **ポイント**

：テスト前に授業内容をしっかり復習し、テスト時にしっかりと準備したものを回答できるように。

～　１５　空欄補充　（英会話）　～

✓ **形式**

：問題用紙に地図が与えられ、示された位置にいる外国人に英語で道案内をする。英会話中の空欄に英文を書き入れる。

✓ **問題数**

：３問

✓ **配点**

：　**（１）４点　（２）２点**　　計６点

ポイント

：道案内でよく用いる Go straight along～や Turn right などのフレーズは覚えておくこと。

：英会話から登場人物の目的地がどこなのかを読み取る。この場合は City Hall

～　１６　記述問題　（用語指定）　～

✓ **形式**

：それぞれの指定された語を用いて、問題用紙の図を英語で描写する。

✓ **問題数**

：２問

✓ **配点**

：各３点　計６点

✓ **ポイント**

：指定された場所を表す語（around, in front of）をどのように使うことができるかを、図を見ながら考える。

：主語と述語を意識し文章を構成する中で、主語が複数形の場合はそれに伴い動詞の状態を変化させる。

～ 総評～

✓ **対策ポイント**

：この期末テストでは、長文読解はおそらく授業で用いたものが出題されており、難易度もそれほど高くない。問題数が多いため、一問一問素早く解くことが重要。記述問題に関しても、長文を記述するような問題はなく、**空欄補充が多い**印象。ゆえに、単語単位ではなく**文章単位で理解・覚える**必要がある。また実践的な場面を想定した問題もあり、日々の英会話での積み重ねも重要となる。

✓ **傾向と対策**

：空欄補充が多い一方で、問題数も多いため、瞬発的に文章を読み取り構成を理解する力が必要。Reading の積み重ねの中で、自然な語の順が身につけたい。また授業で扱った内容も多く出題されているようなので、授業復習も重要。

:英単語や英文の意味や訳を瞬間的に把握して、時間内に余裕を持って解く力が必要